

2025 年 7 月 17 日 プレスカンファレンス スピーチ

三菱自動車工業株式会社
代表執行役社長 兼 最高経営責任者
加藤 隆雄

本日は、三菱自動車の新しい7人乗りファミリーSUVの発表会にお越しいただき、ありがとうございます。私の第二の故郷であるインドネシアで、みなさまに当社の新型車をご紹介できること、大変うれしく思います。

私たち三菱自動車は、1970年にインドネシアにおける事業を開始し、今年55周年を迎えます。私たちがこれまでインドネシアで事業を続けてこられたのは、言うまでもなく、インドネシア政府やお客さま、事業パートナーのみなさま、そしてメディアのみなさまのおかげです。多大なるご支援とご厚意に、心より感謝申し上げます。

さて、いまこちらのステージに置いてある黒い箱の中に何が入っているか、気になっている方も多いのではないのでしょうか。6月中旬にジャカルタのさまざまな場所に出現し始めてから、多くのみなさまにご興味をお持ちいただき、さまざまな予想をしていただきましたが、ようやく種明かしができる日が訪れ、とてもワクワクしています。

インドネシアのお客様が大切にするのは、家族との時間であり、多人数乗車や多彩な使い勝手など実用性の高いクルマです。本日、みなさまに披露するのは、実用性の高さはもちろん、多人数乗車でもゆったりと心地よく過ごせ、本格的なSUVのスタイリングと走りを併せ持ったワンランク上の7人乗りSUVです。このSUVは、家族との絆を深め、毎日の暮らしをより豊かにしてくれるものと、インドネシアで過ごした経験がある私は、確信しています。

私たちは、商品企画から開発に至るまで「家族」を軸にしました。お客さまが日常での移動を快適に過ごすだけでなく、家族と新たな目的地へ出かけたいよう後押ししたい。目的地に辿り着き、安心して家に帰り、また一緒に次の目的地へ向かえるように。そんな想いを胸に、『デスティネーター』と名付け、三菱自動車がこれまで積み上げてきたSUVノウハウを存分に注ぎ込みました。

この新型『デスティネーター』はインドネシアで生産し、7月23日より販売を開始いたします。今後は、フィリピン、ベトナムなどのアセアン地域、南アジア、中南米、中東、アフリカへも順次展開していく計画です。

日常生活から冒険までお客さまに寄り添い、さまざまな路面や天候で安全・安心で快適な走りを実現する、三菱自動車らしさが詰まった7人乗りのファミリーSUVとして、自信を持ってお届けします。

新型『デスティネーター』が数多の目的地にみなさまを誘い、無限の未来を切り開くことを願っています。

新型『デスティネーター』の商品企画の責任者としてこの場に立つことができ、とてもうれしく思います。

加藤さんがお話しされたように、私たちは新型『デスティネーター』を企画するにあたって、「家族」を軸としてきました。商品コンセプトとして掲げたのは、「The Confidence Booster for Energetic Families」です。お客様が家族と一緒に新たな目的地に向けて自信を持って踏み出す後押しがしたい、という想いを込めて『デスティネーター』と名付け、その名を体現できるよう、自分たち自身の家族のことも考えながら、お客様のために商品性を高めて参りました。

新型『デスティネーター』は、優れた走破性と機動性を実現する最低地上高と大地をしっかりとつかむ堂々とした佇まいを実現し、3列シートレイアウトでゆとりあるスペースを確保するとともに、力強い走破性を兼ね備えた7人乗りのミッドサイズSUVとして、「Comfort(快適性)」、「Confidence(自信)」、「Prestige(所有する喜び)」の3つの価値をお届けします。

まずは1つ目の価値、「Comfort(快適性)」についてです。

室内に足を踏み入れれば、家族でゆったりと心地よく過ごせ、みんなでドライブを楽しむことができる広々とした上質な空間が広がります。

- ボディサイズはミッドサイズのカテゴリーに属しますが、限られたサイズの中で最大限の室内空間を確保できるようパッケージングにこだわり、7名乗車でもまるでMPVのように快適に過ごせる3列シートのゆとりある居住空間を実現しました。快適性を実現するため、1列目シートでは、腰回りのホールド感を持たせて座り心地を高めるとともに、肩回りは後ろに振り向きやすい造形としており、後列とコミュニケーションが取りやすくなるよう配慮しています。2列目は、ゆとりのある頭上空間と肩回りのスペースを確保しているため、3名乗車でも快適に過ごすことが可能です。3列目シートにおいても、足元には広々としたスペースを確保し、リクライニング機構を採用することで、ロングドライブも快適に過ごせます。
- 各席で便利に使える使い勝手の良い収納と多彩なユーティリティに細部までこだわりました。2列目シート用の折りたたみ式のシートバックテーブル、各列で使えるType-AとType-CのUSBポートなど、快適に過ごせる装備を充実。また、ラゲッジルームは3列目を使ってもガロンボトル4本が置ける十分な広さを確保したほか、多彩なシートアレンジを可能とし、さまざまな荷物の積載に対応します。
- 悪路でも快適な乗り心地を提供するサスペンションを実現しました。ここインドネシアでも、市街地から高速道路、山岳路に至るまで、徹底的に走り込んで評価を繰り返し、インドネシアのさまざまな道に対応できるようチューニングを施しました。後ほどご紹介するドライブモードと合わせて、さまざまな路面状況で快適なドライブを提供します。

2つ目の価値は、「Confidence(自信)」です。

さまざまな路面や天候で安全・安心の走破性と、力強く爽快な加速性能によって、お客様が自信を持って運転できるようサポートします。

- 荒れた路面でも安心して走行できる高い最低地上高をしっかりと確保しました。見晴らしの良い前方視界としているため、荒れた路面や激しい降雨により水に覆われた路面でも安心して走行することが可能です。また、悪路や大きな段差でも安心して運転することができるアプローチアングルとランプブレークオーバーアングル、デパーチャーアングルを確保しました。
- 1.5L MIVEC ターボエンジンは最高出力 163PS (120kW)、最大トルク 250 N・m を発揮し、レスポンスのよいスムーズな力強い加速によって、爽快な走りを提供します。アセアン地域に最適化された水冷インタークーラー付きターボと高効率なダブルインジェクション機構を採用し、力強い走りと燃費性能を両立しました。トランスミッションはCVTを組み合わせ、街中や高速巡行などの穏やかな走行領域ではスムーズで静粛性の高い走りを実現し、上り坂での追い越しや高速での合流などアクセルを踏み込む必要がある場面では力強い加速を実現します。

- 前輪駆動方式を採用しながらも、三菱自動車の四輪制御技術によって、さまざまな路面や天候で安全・安心で快適な走りを提供する SUV ならではの走破性を実現しました。前左右輪の駆動力を調整して高い操縦性を実現するアクティブヨーコントロール (AYC)、タイヤのスリップを制御するトラクションコントロール、エンジン制御、パワーステアリング制御を統合制御することで、さまざまな路面状況に対応することを可能としています。
- 路面状況に応じて最適な操縦性と駆動力を発揮する 5 つのドライブモードを設定しました。日常走行でのバランスが取れた「ノーマル」、雨天時の濡れた路面でも高い安定性を発揮する「ウェット」、未舗装路で滑りやすさを抑えて安心感のある操縦性を発揮する「グラベル」、ぬかるんだ悪路でも力強い走破性を発揮する「マッド」。また今回、インドネシアのお客様に新たにご紹介する「ターマック」は、三菱自動車のモータースポーツ DNA を象徴するモードです。舗装されたワインディングロードでのキビキビとした走りを実現するとともに、追い越しや渋滞から抜け出すときなどに応答性の良さを発揮します。
- 安全で快適なドライブをサポートするため、マルチアラウンドモニターをはじめとする各種の先進運転支援機能を搭載し、高い予防安全性能を確保しました。また、衝突時にキャビンの変形を抑制する衝突安全強化ボディや、6 つのエアバッグを採用することで、衝突安全性能も確保しています。

3 つ目の価値は、「Prestige (所有する喜び)」です。

日々の暮らしの中で感じていただける、お客様の満足度を高める装備を盛り込みました。

- スタイリッシュな内外装も「所有する喜び」をお届けするものの一つですが、デザイナーがかけた想いについては、次のセクションで秋田さんより語っていただきます。
- インストルメントパネルには、多彩なコンテンツを表示してドライブの楽しさを高める 12.3 インチのスマートフォン連携ディスプレイオーディオと 8 インチのドライバーディスプレイを一体化させた大型パネルを採用しました。センターディスプレイからは、電動パノラマサンルーフやアンビエントライト、コネクティッド機能などを操作することができ、利便性を高めています。
- 日中のドライブでは、電動パノラマサンルーフによって、より明るく開放的な空間を実現します。ガラスやサンシェードの開度をお好みで設定し、日差しや新鮮な空気を取り込むことが可能です。
- 夜間のドライブでは、アンビエントライトが空間をよりいっそう上質にグレードアップさせます。ライトの色は 64 色の中から気分に合わせて選択可能となり、常時点灯させられるほか、色を切り替えたり、停車中は明滅を繰り返すことができ、リラックスした空間を演出します。
- ご好評いただいている「ダイナミックサウンドヤマハプレミアム」を搭載しました。計 8 個のスピーカーによって構成され、ヤマハのサウンドマイスターによって『デスティネーター』に最適な音質に調整されたオーディオシステムによって、高品質で臨場感溢れるサウンドで乗員を包み込みます。
- 快適に安心してドライブを楽しめるよう、コネクティッド機能も充実させました。もしものときに乗員を守るため、コールセンターサポートを充実させたほか、スマートフォンと連携した操作では、自車位置の確認や乗車前にエアコンを作動させることができ、便利で快適に過ごすことができます。

このように、ご家族にお使いいただくことを念頭に置きながら、新型『デスティネーター』を細部に至るまで丹念に作り込みました。新型『デスティネーター』がみなさまの良き相棒となり、思い出に残る冒険にご家族をお連れし、目的地に辿り着くお手伝いができることを願っています。

本日は、新型『デスティーネーター』のデザインについてご紹介できることを大変光栄に思います。

私たちは、新型『デスティーネーター』のデザインを構想するにあたって、特にインドネシアのお客様を念頭に置いてまいりました。目指したのは、広々とした3列シート SUV へのアップグレードを考えているお客様に、誇りや自信、快適さを感じていただける一台です。そのために、「GRAVITAS & DYNAMISM」というデザインコンセプトを掲げました。

「GRAVITAS」は、圧倒的な存在感と重厚感を意味します。自信を持って運転できるドライビングポジション、安定感のあるスタンス、そして上質な3列キャビンを融合させ、クラスを超える風格を生み出しました。水平基調で力強く、立体的な造形としたフロントフェイスと、キャビン全体を包み込む滑らかな面によって、広々とした室内空間を際立たせています。

一方、「DYNAMISM」は、エネルギーに満ちた躍動感と SUV らしいタフさと力強さを表現しています。長いフロントノーズと広いキャビンによるダイナミックな佇まい、大径タイヤと高い最低地上高による優れた走破性、まるで鍛え上げられたアスリートのような力強さを感じさせる前後のフェンダーフレア。これらにより、本格的な SUV のプロポーションを造り上げました。

フロントには、力強さと安心感を表現する三菱自動車のフロントデザインコンセプト「ダイナミックシールド」を採用。『エクスフォース』と同様にフロントグリルを左右バンパーでプロテクトする造形と立体的に一体化し、水平・垂直のラインを強調することで、安定感のある堂々とした印象を与えています。

T 字型のデイトタイムランニングランプとテールランプは、スリット状のアクセントを加えることで、三菱自動車らしさと安全性を両立。車両の端を明確に示し、正面・背面どちらから見ても、ひと目で三菱車と分かるデザインにこだわりました。

『デスティーネーター』は、「Timeless Modernity（時代を超えて愛されるモダンなデザイン）」という思想も体現しています。たとえば、フロントグリルには透明なアクリル素材を使用し、先進的で洗練された印象を演出。リヤピラーは力強さと堅牢性を象徴し、SUV らしい上質感と逞しさを融合させています。外観から内装に至るまで、常に新鮮さを感じさせるデザインとしました。

インテリアも「GRAVITAS & DYNAMISM」のコンセプトを反映し、広々とした上質な空間を実現しました。インストルメントパネルにはソフトマテリアルを使用し、ドアトリムまでつながる形状にすることで、包み込まれるような安心感を演出しています。センターコンソールは高めに配置し、下部に収納スペースを確保することで、高い機能性と操作性を実現。ナビゲーションやインフォテインメントにアクセスできる大型ディスプレイは、アセアン市場で求められる先進的なデザインと機能性を両立させました。

64 色から選べるアンビエントライトは、上質な雰囲気演出し、車内全体に洗練された空間をもたらします。もちろん、後席の快適性にもこだわり、パノラマサンルーフによって、広く開放的で心地よい空間を実現しています。

エクステリアのメインカラーには、ホワイトパールを設定しました。新色であるルナーブルーは、堅牢な印象を与え、SUV としての逞しさを表現しています。どちらの外装色も、『デスティーネーター』の力強く個性的なデザインを際立たせます。

インテリアカラーは、洗練された印象とモダンなライフスタイルを感じさせるマルーンと、本格的で上質かつスポーティな印象のブラックの2種類をご用意しました。

私たちは、このデスティーネーターが三菱自動車の新世代デザインを象徴するモデルであると考えています。「GRAVITAS」の圧倒的な存在感と重厚感、そして「DYNAMISM」の躍動感とエネルギーを、ぜひご体感ください。新型『デスティーネーター』が、みなさまと大切なご家族、そしてみなさまの冒険心を、新たな目的地へと導いてくれることを、心から願っています。